

平成25年度前期の保護者アンケート回収率も昨年同様、90%以上と低くはありませんが、さらに関心を持っていただくための工夫や取組の必要性を感じています。今後検討していきたいと思います。どうもありがとうございました。

また、今年度より、授業に関する項目は、授業参観の際にアンケートをお願いするように変更いたしました。残念ながら回収率が低く、全体のご意見を伺えているとはいえません。これに関しまして今後検討していきたいと思います。なお、今回の数値は年間のトータルです。

項目	H23前期	H23後期	H24前期	H24後期	H25前期	H25後期
お子たちは、授業の内容をよく理解していると思われますか	76%	84%	79%	77%	(100%)	93%
お子たちは、授業が楽しいと感じていると思われますか	85%	82%	71%	71%	(89%)	93%
お子たちは、意欲的に学習に取り組んでいると思われますか	75%	73%	64%	63%	(91%)	93%
学習のめあてを明確に示されていると思われますか	85%	83%	66%	72%	(93%)	100%
お子達に正しい心が育っていると思われますか	81%	83%	81%	86%	84%	79%
家庭学習の時間は設定されていますか	78%	70%	64%	58%	72%	67%
ゲームやテレビ視聴の時間の約束は決められていますか	63%	60%	48%	53%	65%	65%
家でお子達の役割（お手伝い）は決められていますか	49%	58%	50%	50%	62%	57%

授業については、概ね良好であると言えます。ただ、本校の規模や環境等、メリットを十分に生かし、ひとり一人の児童の学力定着を確実に保障できたのかについては反省しなければならないことがまだまだあると考えています。

また、ご家庭での生活についての項目は、概ね前回よりもやや下降気味です。ワースト1は、「家でお子達の役割（お手伝い）」で5ポイントマイナスの57%でした。同2が、「読書についての声掛けが62%でした。同3と4は毎回の定番である「ゲームやテレビ視聴の時間の約束」と「家庭学習の時間は設定」でした。ただ、同5に、「早寝早起き」が10ポイントマイナスの70%でした。

集計ポイントを紹介していない項目については、全て90%以上で肯定的な回答を頂いています。

コケコッコ運動(生活点検)期間中では、「早寝早起き」を含め、家庭生活のほぼ全ての項目でよい結果となっています。来年度、生活点検の期間を延ばすか回数を増やすか検討したいと思います。そして、前期・後期の学校評価とは別に調査をする等検討したいと思います。

今回の我が家の「子育てのコツ」

一年生

(家での約束)・挨拶をしっかりと。

- ・自分がされて嫌なことは友達にしない。

(親として)・どんなに忙しい時でも子の話はしっかりと聞く

- ・優先すべきことを決めて、あれも、これもと欲張らない。

(仕事をしていると、すべてできません(家事など)なので、重要なことだけ

三年生

(家での約束)・挨拶をしっかりと。

- ・人にされて嫌なことは友達にしない。

(親として)・どんなに忙しい時でも子の話はしっかりと聞く

- ・忙しくて家事ができないこともあるので、優先すべきことをする。

- ・ほめる時はおおげさにほめる。(子どもと二人の時に)

四年生

- ・今のおやは与えすぎ あかんことは、あかんとはっきり言わんと

- ・あいさつをすること。

五年生

- ・無理やりでも,たまには抱きしめてやること

六年生

- ・あいさつをすること
- ・自分がされて嫌なことは人にはしないと,いつも言っています。
- ・家の仕事を一つ決めて,約一年程継続しています。今は何も目に見えて成長した事など無いですが,継続は力成りで,いつか花咲くことがあると思います。

○学校評議員会による分析と評価

- ・運動会の4色対抗は人数面から無理が来ているのではないか。
- ・子どもたちは挨拶をせずに静かに歩いているので声をかけるようにしている。北高生は挨拶をしてくれるので物事の道理がわかればするようになるのだろうか。
- ・ゲームをしている子が多いのが気になる。親世代がゲーム世代だから仕方がないことかもしれないが、本でも買って読ませる方がよいと思う。
- ・携帯の保有率は、中学卒業前が多い。市内はもっと早いですが、ゲーム利用を防ぐ観点からもこの方がよいのではないか。
- ・学校の情報をホームページで流しているが、宿泊行事などを速報的に順次流しているのを見るとそこまでしなければならないのか疑問に感じる。
- ・12月に仮橋ができるということだが、鳴瀧橋が崩落してから地域内の交通量が増えたことやバス路線の迂回という影響が出ている。中高生も含めた子どもたちの交通安全やバス通学時間増に地域としても配慮していかなければならないと感じている。

○保護者・学校評議員会よりの評価を受けて

あいさつについては、家庭とも協力をして大人があいさつをする姿を見せることで、あいさつをする雰囲気や機会を作るようにしていくようにする。運動会の4色対抗については、色別班会との関わりもあるが、再考していく。など、児童の学校や家庭での生活がよりよくなるように改善策を検討していきたいと思います。